

令和2年度第1回「ていねっていいね！区民の集い」議事録（概要）

- 1 開催日時：令和2年7月30日（木）14時～15時
- 2 開催場所：手稲区民センター2階 区民ホール
- 3 出席者：出席34名（47団体）、欠席8名（8団体）
- 4 内容：以下のとおり
 - (1) 次第1 開会
 - ・ 交代のあった参加団体代表者の紹介（資料1の参加団体名簿で網掛けのある方）
 - ・ 役員改選について（資料1～3）

【宗万市民部長説明要旨】

- ・ 座長については、「区民の集い設置要綱」第5条第3項の規定により区連協会長の笹淵座長が留任。
- ・ 副座長及び運営委員長については、各団体の代表の交代により欠員が生じたため、資料3「運営委員会構成員名簿」のとおり各団体の後任者が着任。
- ・ 運営委員は、同要綱第6条第3項の規定により、座長が選任することとなっており、資料3の「運営委員会構成員名簿」のとおり笹淵座長が選任。

(2) 次第2 座長挨拶

【笹淵座長挨拶要旨】

今年度はコロナウィルス感染拡大により、みなさまも大変ご苦労されたと思う。私どもとしましては、会合を開くにあたって、感染対策を行って、実施していきたいとおもっている。今後も活動していくことにより、少しでも社会に活気づけていきたい。

また本日の議題では、「てっぽく・ひろば」の今後の活用について、アンケートをとって区民の意見を市に提出していきたいと思っている。この後、事務局から詳しい説明があるので、よろしくお願ひしたい。

(3) 次第3 区長挨拶

【田中手稲区長挨拶要旨】

「ていねっていいね！区民の集い」は、区民の皆様が主役となって、地域に愛着と誇りを持った「ふるさと手稲」づくりを進めることを目的に活動しており、昨年度は「安全・安心なまちづくり」をテーマに、脱出ゲームの要素を取り入れた防災訓練を実施した。

皆様には、今後もコロナウィルスに留意しながら、ご自身の健康に留意されながら、ご活動いただきたい。今後もまたご協力をよろしくお願ひしたい。

(4) 次第4 議事

ア 「ていねっていいね！区民の集い」令和元年度活動報告

【河野地域振興課長説明要旨】(資料4)

- ・ 令和元年6月27日に区民ホールにおいて、第1回「ていねっていいね！区民の集い」を開催。令和元年度は、前年度に引き続き、活動テーマを「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」の2つとした。
- ・ 9月4日にてっぼく・ひろばと手稲鉄北小学校にて開催された「手稲区防災訓練」に参加。
- ・ 10月12日に区民ホールにおいて、防災体験イベント「体感型防災アトラクション」を開催した。
- ・ 1月21日に手稲区保健福祉部が主催した手稲区災害時支え合い研修会に参加。

イ ていぬ活用委員会令和元年度事業報告

【河野地域振興課長説明要旨】(資料5～6)

- ・ 「ていぬ活用委員会規約」第1条にていぬ活用委員会は区民の集いの下に設置すると定められている。
また、同規約第6条に事業計画、収支予算及び収支決算は区民の集いに報告しなければならないと定められており、ていぬ活用委員会で書面決議された内容について報告する。
- ・ 活用事業では、各イベントへの着ぐるみの貸し出しが令和元年度は89件。昨年度は多くのイベントに貸し出しを行うことができた。
グッズの販売は、新商品としてアクリルストラップ、ミニタオル、マグカップの販売を開始。また、次年度の販売に向けて新しいグッズの企画と商品化を行った。
- ・ 令和元年度収支決算は、差引485,284円が次年度へ繰り越しとなった。

ウ ていぬ活用委員会令和2年度事業計画

【河野地域振興課長説明要旨】(資料7)

- ・ 活用事業では、各種イベントにおいて主催団体と協力してグッズの販売を行う予定。新たなグッズとして、木のしおりと新デザインのミニタオルの販売について検討する予定。
- ・ 令和2年度収支予算について、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各種イベントの中止が相次いでいるため、グッズ販売額も減少することを見込んでいる。合計は、1,123,028円となっている。
- ・ 皆様方には、ていぬの活用について、より一層のご協力をお願いしたい。

エ 令和2年度手稲区の目標と取組について

【斎藤総務企画課長説明要旨】(資料8)

- ・ 「人に優しいまちづくり」と「ふるさと手稲づくり」の2つは、区民の皆さまに、手稲区に住んでいて良かったと実感していただくための目標。

- ・ 目標達成のため、資料のとおり「安心して暮らせるまちへ」、「誰もが生涯現役で活躍し続けるまちづくりの取組」、「手稲区の魅力を発信する取組」、「地域活動の活性化を支援する取組」の4つの取組を行う。

「安心して暮らせるまちへ」

- ・ 「連携等による地域防災力の向上」を目指し、地域防災事業者ネットワーク会議を通じて防災に関する事業者間連携を進めていくほか、地域住民・学校職員・区職員が実際の避難所に一堂に集まる実地研修を開催など、地域の自主的な防災の取組を支援する各種研修などを実施してまいります。
 - ・ 「交通事故・犯罪のないまちづくり」を目指して、町内会や関係団体ともに交通安全啓発活動を実施するほか、手稲警察署から提供される犯罪情報を区のホームページやラジオを通じて発信してまいります。
- ※地域防災事業者ネットワーク会議については、「区民の集い」の場で、前年度の会議の概要を報告しているが、令和元年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止決定。

「誰もが生涯現役で活躍し続けるまちづくりの取組」

- ・ 「区民の健康づくり・生きがいづくり」を目指し、北海道科学大学や企業、地域と連携してウォーキング等の運動習慣の普及に取り組む。高齢者教室「稲苑大学」については、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止決定。
- ・ 「食育の推進」を目指し、食育に対する区民の意識を高めることを目的として、若者料理教室などの啓発活動を行う。
- ・ 「地域で子育てを支える環境づくり」では、区役所1階にございます「きてみてルーム」で提供する子育て情報の拡充や、各地域での子育てサロンの運営支援などの取組により、子育て家庭をさまざまな角度から支援する。

「手稲区の魅力を発信する取組」

- ・ 「冬季オリンピック・パラリンピックの機運醸成につながる手稲山の魅力発信」として、手稲山ウォーキングや親子スキー教室などの開催を通して、1972年の冬季オリンピック札幌大会の会場となった手稲山の魅力発信を行う。
- ※7月に開催を予定していた「手稲山ウォーキング」については、新型コロナウイルスの影響により中止。
- ・ 「手稲区大使と『ていぬ』による魅力の発信」として、手稲区親善大使の三浦雄一郎氏、手稲区ふるさと大使の伊藤多喜雄氏を招いた地域の行事開催を支援。「ていぬ」の着ぐるみの地域行事への貸出しなどを行う。また、新たな取組として、出生届や婚姻届を提出された方に、「ていぬ」型のスポンジをお渡しする事業を開始。
 - ・ 「豊かな自然の保全活動の推進」では、富丘西公園のスズランや星置緑地のミズバショウなど、手稲区の貴重な自生植物の保全に、地域住民と共に取り組む。

「地域活動の活性化を支援する取組」

- ・ 「地域のまちづくり活動の支援」では、まちづくり活動の新たな担い手づくりのための支援といたしまして、地域のまちづくり活動を詳しく紹介する冊子を発行する。
※新型コロナウイルスの影響で、地域活動の多くが中止となっているため、本年度の内容については今後検討予定。
- ・ 「活発な地域活動への支援」のスポーツ・レクリエーション祭の実行委員会への支援、北海道科学大学を会場として実施させていただき予定でございました「ていね夏あかり」については、新型コロナウイルスの影響により、中止が決定。
- ・ 区防災訓練については、科学大学で開催予定。しかしながら、新型コロナウイルスの関係で、地域の方に参加いただくことが困難であると判断し、区職員、科学大学の職員のみで、感染症対策を取り入れた避難所開設運営訓練として、実施する予定。なお、避難所における感染症対策等について、広報さっぽろなどを通じて、周知予定。
- ・ 「雪と共存した暮らしへの理解促進」については、地域の将来を担う子どもたちの雪対策に対する意識を高めるため、小学生を対象とした雪体験授業を行う予定。

オ 手稲区 30 周年について

【斎藤総務企画課長説明要旨】（資料 9）

「ロゴマークを活用したグッズの制作・活用」

- ・ 手稲区役所では 30 周年の記念の年をより多くの方に PR するため、ロゴマークを用いたグッズを資料に記載のとおり製作し、区主催事業、地域の方々、商店街主催の行事、イベントに提供のほか、児童会館や小学校などでも配布。
- ・ 日本郵便株式会社北海道支社さまのご協力のもと、製作・販売した手稲区 30 周年記念フレーム切手についても、好評につき短期間のうちに完売。

「手稲区 30 周年記念イベント」

- ・ 手稲区親善大使である三浦雄一郎さんをお招きし、昨年 11 月 10 日（日曜日）に記念イベントを開催。イベント前半は、「三浦さんのスペシャルトークショー」と「景品が当たる手稲区にまつわるクイズ大会」を行い、後半にはフィンガーペインティングを実施。216 名の方々にご来場いただき、大盛況のもとイベントは終了。

「手稲区 30 周年パネル展」

- ・ 昨年 11 月 1 日～10 日までの 10 日間、JR 手稲駅自由通路「あいくる」の広場においてパネル展を開催し、手稲区 30 年間のあゆみを紹介した。パネル展の実施に当たっては、区内の幼稚園等からお寄せいただいた「手稲の

ここがいいね！」のイラストを周囲に飾ることにより、明るく楽しい雰囲気
でパネル展を盛り上げることができた。

カ 「ていねっていいね！区民の集い」令和2年度年間計画

【丹伊田運営委員長説明要旨】（資料10）

- ・ 令和2年度区民の集いの活動テーマは、昨年度に引き続き、「安全・安心なまちづくり」と「区の魅力づくり」の2本柱として進めてまいりたい。
- ・ 内容については、手稲区連合町内会連絡協議会（以下：「区連協」という）より、「区の魅力づくり」のテーマに沿った内容として、「てっぽく・ひろば」の今後の活用について、意見・要望の集約を行う場とさせていただきたいとのご提案をいただいている。
- ・ 「てっぽく・ひろば」に関しては、令和4年度をめどに売却される予定となっており、売却後、民間による活用の方向性について、「区民の集い」参加団体からご意見を頂戴したいと考えている。

キ 「てっぽく・ひろば」について

【河野地域振興課長説明要旨】（資料11）

- ・ 資料11のとおり、「てっぽく・ひろば」の概要、区連協の取り組み、今後のスケジュールについて説明。
- ・ 意見・要望については、アンケートにより集約。参加団体には、資料11の最後のページを参考にアンケートを記入し、9月30日までにアンケートの提出をお願いしたい。

【手稲保護司会 岡本会長 質問】

- ・ 説明の中で、民間に売却して活用するというお話があったが、札幌市として残し、文化施設のようなものを造るというわけではなく、民間に売却することは決定されていることなのか。
- 行政として施設を建てる予定はなく売却することになる。そこで、買い手に対して、条件を付けるような形で売却することを検討している。
条件が多いと買い手が見つからなくなるが、区民にとって思い入れのある土地だと思うので、その気持ちを可能な限り反映させるよう働きかけていきたいと考えている。（河野地域振興課長）
- ・ 手稲区は、文化施設がないところだと思う。広大な土地のため、総合施設みたいなものを建て、西区にある手稲記念館などと合わせて、憩いの場となるような建物を建てていただければと思う。
- そのようなお考えを含め、是非アンケートにも記載いただきたい。（河野地域振興課長）

ク その他 なし

(5) 次第5 閉会

【笹渕座長】

以上で令和2年度第1回「区民の集い」を終了する。

(以上により議事を終了、すべて事務局原案のとおり承認)

以上